

令和6年度
市川市立市川小学校

経営(案)



学校教育目標

夢の実現に向けて行動する子供の育成

学校経営方針

- (1) 一人一人を大切に、児童が伸びやかに育つ学年学級経営
- (2) 自分の生き方について考えを深めるキャリア教育の推進
- (3) 自他の生命や人権を尊重する心、思いやりの育成
- (4) 基礎基本の確実な定着と主体的で互いに学び合う授業の創造
- (5) 生活習慣の確立や自立を促す健康教育・体力向上の推進
- (6) 保護者や地域との連携を深め、信頼される学校づくり

児童の姿

「行動する力」を持つ

問題や課題に向き合い、自ら考え行動する意識を高める

- きまりや学習など、物事の意味を考え、納得して取り組み、課題解決のための工夫ができる児童
- よりよい生活習慣や、体力向上を目指すことができる児童
- 自己肯定感を持ち、他者を思いやり自分も大切にできる児童

重点目標

探求的な学びの推進

- 好奇心(やる気スイッチ)を揺さぶる授業の創造
- 国語科教育・読書活動の充実
- 体験学習(本物に触れる機会)の充実
- ICTの効果的活用
- 家庭学習との連続性

言語能力の育成

- 考えを明確に伝える力の育成
- 「書く」活動の充実
- 児童相互の話し合い活動の充実
- 学校・家庭・地域で「本に親しむ」

学習用端末の活用推進

- アナログとデジタルのベストミックスの確立
- 日常的なタブレット活用の充実
- 家庭学習でのタブレット活用の推進
- コミュニケーションツールとしてのタブレットの活用

体力の向上

- 正課体育の充実
- ヘルシースクールの推進
- 家庭と協力し、望ましい生活習慣の確立
- 食に関する教育の推進
- 安全教育の推進

多様な教育的ニーズに対応する学びの推進

- 効果的な教科担任制の導入
- 本音で語る道徳・人権教育の充実
- 交流活動・交流学习を通じた多様性を認め合える児童の育成
- 児童に寄り添う指導・支援体制の充実
- 児童や保護者との日常的な教育相談の充実
- 不登校を未然に防ぐための連携及び支援の充実
- 外国人家庭への支援

目指す教職員像 「まなぶ楽しさ、できる楽しさ、ともに過ごす楽しさ、教える楽しさ」を伝えられる教職員

- ①「児童の実態に即した学習・生活指導」「児童や保護者に寄り添うこと」ができる教職員
- ②資質向上のため研修に取り組むことができる教職員
- ③心身ともに健康な教職員
- ④誰に対しても、明るく爽やかな挨拶ができる教職員
- ⑤オンオフを大切にできる教職員